

令和5年度 市の財政状況

市は、市民の皆さんに市財政の実態を知っていただくため、毎年2回財政状況を公表しています。本紙面では、令和5年度の財政状況についてお知らせします。

この公表により、市財政はどのように運営され、税金はどのように使われているのかなどをご理解いただき、より良い大垣市をつくるため、市民の皆さんにご協力をお願いするものです。

令和5年度は、燃料費・光熱水費などの物価高騰という厳しい状況に直面しながらも、大垣市未来ビジョン第2期基本計画に掲げた「選ばれるまち大垣」の創造を目指し、障害児通所支援事業所である「ひまわり学園」の改築や、デジタルにさまざまな形で気軽に触れ楽しめる情報工房「デジタルひろば」のオープン、大垣城を核とした大垣公園の再整備、大垣城ホールの改築に向けた基本構想の策定など、本市の魅力向上を図る事業に重点的に力を注ぎました。

財政状況について詳しくは、市HPをご覧ください。か、財政課（☎47-8296）へ。

一般会計

令和5年度の一般会計の決算は、右グラフのとおりで、収入額が673億9,657万円、支出額が644億3,797万円となりました。

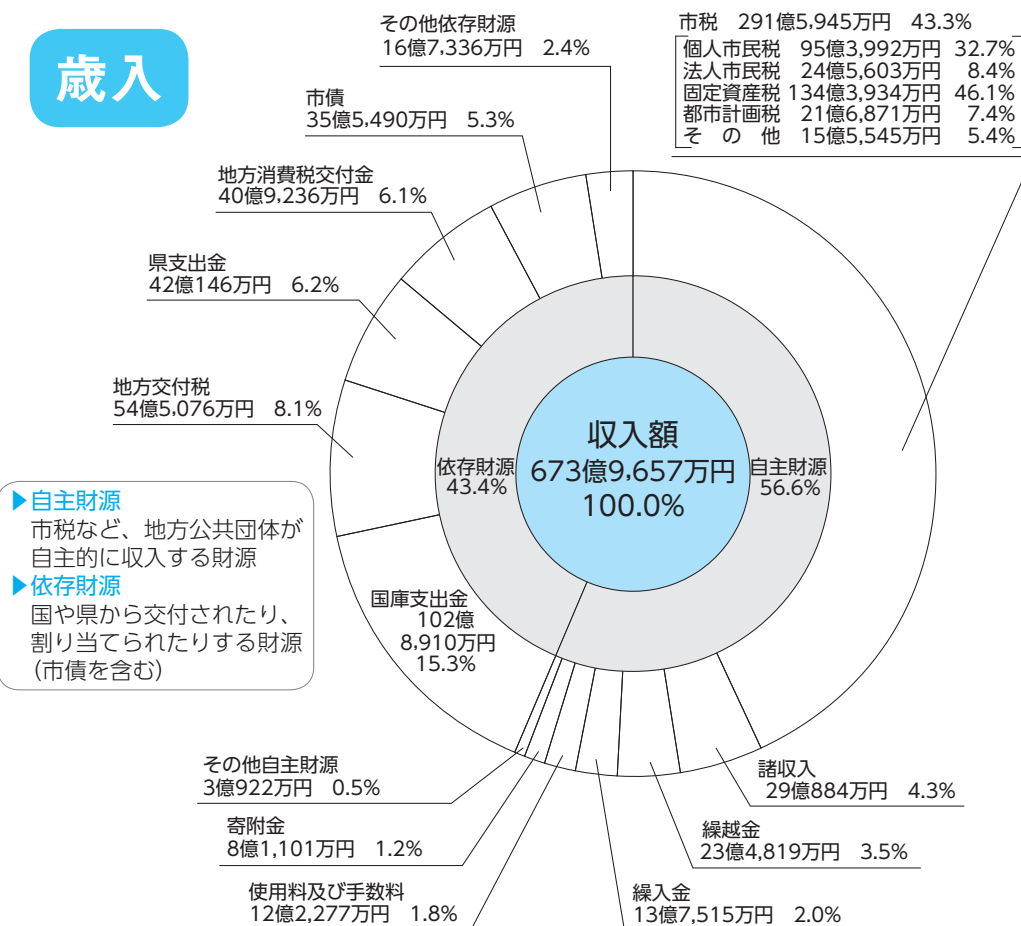
令和4年度と比べて、歳入が0.9%減、歳出が1.9%減となっています。

歳入のうち、市税収入が291億5,945万円と全体の43.3%を占めており、令和4年度と比べて、個人市民税の増などにより3億8,837万円、1.3%増となっています。

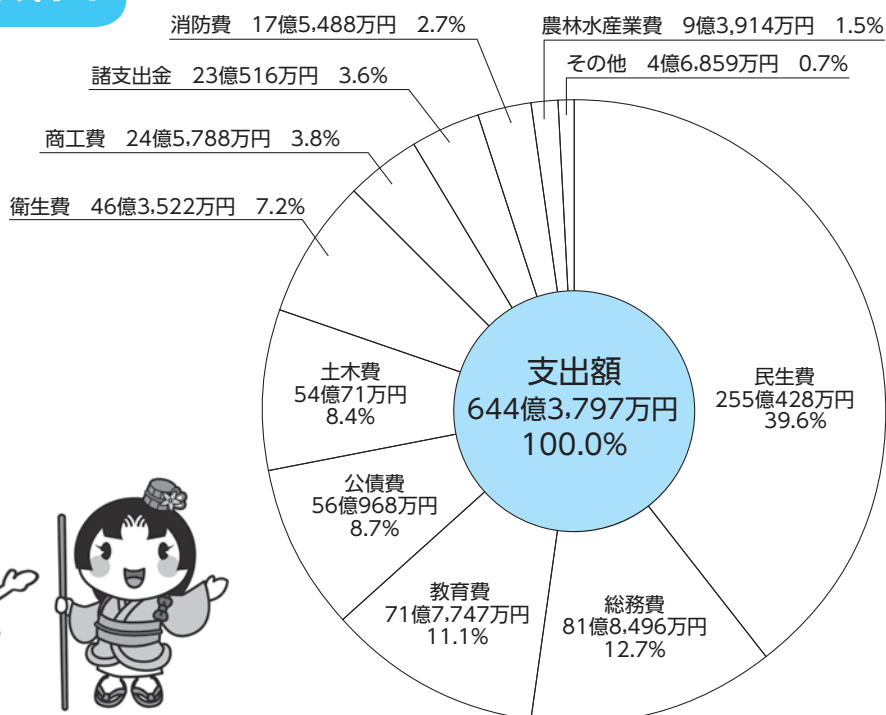
歳出の主なものは、社会福祉・高齢者福祉・児童福祉などの経費である民生費が39.6%と最も多く、次いで、窓口サービスや防災などの経費である総務費が12.7%となっています。

令和4年度と比べて、物価高騰臨時特別給付金支給事業（16億2,237万円増）、ひまわり学園改築事業（6億9,151万円増）、東地区センター改築事業（5億2,355万円増）、子育て世帯物価高騰対策応援金支給事業（4億8,997万円増）などが増加した一方で、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業（6億7,835万円減）、新型コロナウイルスワクチン接種事業（4億3,218万円減）、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業（3億3,430万円減）などが減少しました。

歳入



歳出



財政の健全性に関する比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和5年度決算に基づく「健全化判断比率(実質赤字比率など4指標)」と「資金不足比率」を公表します。

いずれの比率についても、①自主的な改善努力を図る財政健全化計画の策定が義務付けられる基準、②国などの関与による確実な再生を図る財政再生計画の策定が義務付けられる基準を下回っています。

区分	説明	大垣市	① 早期健全化基準	② 財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字はありません	11.52%	20.0%
	連結実質赤字比率	赤字はありません	16.52%	30.0%
	実質公債費比率	2.5%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	9.6%	350.0%	
資金不足比率	公営企業の資金不足を事業規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示します	資金不足はありません	20.0%	